

第45回

専門医を目指す消化器外科セミナー

消化器外科医を目指す専攻医、初期研修医の先生方を対象として消化器外科の基本を学んで頂くことを目的としたセミナーを行います。異なる施設で研修する同世代の外科医との交流や情報交換の場として活用して下さい。

日時 2020年2月21日(金) 19:30～

会場 ブリーゼブリーゼ

大阪市北区梅田2-4-9 ブリーゼタワー8階 805

TEL: 06-6344-4888

会費 ￥500-

事務局：大阪大学大学院医学系研究科 外科学講座 消化器外科

大阪府吹田市山田丘2-2

TEL: 06-6879-3251

共催：専門医を目指す消化器外科セミナー
ミヤリサン製薬株式会社

◆ プログラム ◆

製品紹介 (19:20 ~ 19:30)

生菌整腸剤 ミヤBM[®] の特徴と有用性について ミヤリサン製薬株式会社

★ 開会の挨拶 大阪大学 消化器外科 教授 土岐 祐一郎 先生

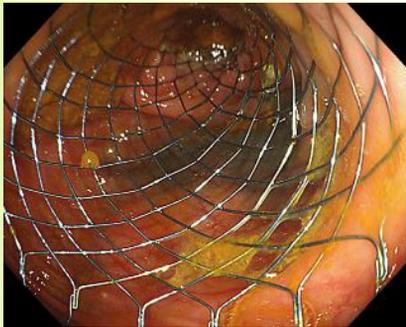
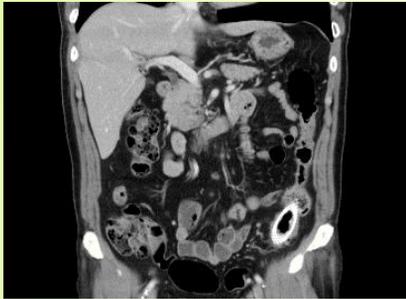
症例検討 (19:30 ~ 20:30)

司会：大阪大学 消化器外科 荻野 崇之 先生

症例コメンテーター：大阪医療センター 三代 雅明 先生 / 市立八尾病院 橋本 安司 先生

『閉塞性大腸癌に対する治療戦略として大腸ステントが有用であった1例』

大阪急性期・総合医療センター 消化器外科 南 壮一郎 先生



近年、閉塞性大腸癌に対する治療戦略として大腸ステントにより緊急手術を回避し待機的手術への架け橋をするBTS (bridge to surgery) が普及しつつある。

症例は68歳、男性。腹痛を主訴にCTを施行され、S状結腸癌による腸閉塞が疑われた。大腸内視鏡にてS状結腸にスコープ通過困難な全周性3型病変を認め、大腸ステントを留置した。再度大腸内視鏡を施行したところ、横行結腸に早期大腸癌を認め、ESDを施行し根治切除が得られた。ステント留置60日後、腹腔鏡下S状結腸切除術を施行した。術後経過は良好で、術後12日目に軽快退院した。現在、無再発生存中である。

閉塞性大腸癌に対するステント留置は、術前に口側大腸の精査が可能となり有用と考えられた。

『ERCP後膵炎の1例』

大阪警察病院 消化器外科 乾 元晴 先生



症例は60歳台男性。201X年Y月に黄疸を主訴に受診し、精査の結果下部胆管癌と診断した。診断のため施行したERCP後に重症急性膵炎を発症し、保存的に軽快したが、Y+2月に施行したCTで13cm大の仮性膵嚢胞を認めた。経過観察を行っていたが、Y+3月には20cm大に増大した仮性膵嚢胞により胃の圧迫症状が出現したため、内視鏡下に嚢胞のドレナージを行った。しかし、同部位に感染を伴い、嚢胞径の縮小もなく、コントロール困難と判断されY+4月に当科コンサルトとなった。

仮性膵嚢胞に感染をきたし、手術によりそのコントロールを行った症例を経験したので、文献的考察を含めて報告する。

特別講演 (20:40 ~ 21:40)

司会：大阪大学 消化器外科 教授 江口 英利 先生

『医師の行動規範としての抗菌薬適正使用』

大阪大学 感染制御部 教授 朝野 和典 先生

「抗菌薬を適正に使用しよう」とよく言われます。かぜに抗菌薬を投与したり、外科系では、かつて手術後帰室してから抗菌薬を開始し、1週間続けていたなどのことが不適切な使用の典型として挙げられます。前者は、無駄な抗菌薬であり、後者は予防と治療を混同した投与です。しかし、その結果患者に不都合がなければ、過剰ではありますが患者にとっては、わずかな頻度とはいえ細菌感染症を回避したことになりメリットになります。もちろん不都合の大きなものは薬剤耐性菌の問題であり、その患者だけの問題ではありません。かぜで繁用される第3世代セフェム系経口薬はBLNAR（ β -ラクタマーゼ非産生アンピシリン耐性）インフルエンザ菌というブーメランとなって小児を苦しめています。外科手術のあとの長期の抗菌薬投与は、感染症の発症は減らさないうえ、次に戦う微生物を、例えばESBL（基質特異性拡張型 β -ラクタマーゼ）産生菌あったり、カンジダであったり、戦いにくい相手とします。「抗菌薬を適正に使いましょう」というのは「他人には親切にしましょう」と言うのと同じで、単に善意を促しているのではなく「人を傷つけてはいけません」という医師の本質的な行動規範を述べているのだと考えます。

★ 閉会の挨拶 大阪大学 消化器外科 教授 江口 英利 先生

【交通アクセス】

ブリーゼブリーゼ

〒530-0001 大阪市北区梅田2-4-9ブリーゼタワー8階

TEL:06-6344-4888



JR大阪駅からお越しの場合 (徒歩約5分地上ルート)

JR大阪駅桜橋口改札を出て、右側へ。

横断歩道を渡り、旧大阪中央郵便局を左折して直進してください。

次の交差点を右折、1つ目の信号を左折し(角に大阪モード学園があります)ハービスENTとハービスOSAKAの間を抜けた正面がブリーゼタワーです。

* エスカレーターもしくは、タワーダイニング用のエレベーター(奥のエレベーター)をご利用ください。

* お車でお越しの先生はブリーゼプラザ地下駐車場をご利用下さい。